

(行政視察・**政務活動**・議員研修) 報告書

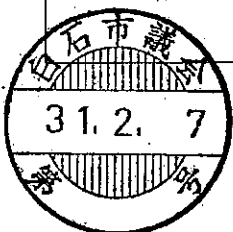
平成31年 2月 7日

白石市議会議長 志村 新一郎 殿

議員氏名 松野 久郎

下記のとおり行いましたので報告いたします。

期 間	平成31年 2月 4日(月) ～ 2月 5日(火)
調査・研修先	立川市視察及び衆議院予算委員会傍聴等
調査事項 (研修事項)	<p>■白石市においては、2020東京オリンピック・パラリンピックに向け、白石市と柴田町、白石市・柴田町・仙台大学東京オリ・パラ事前合宿招致推進協議会がベラルーシ体操協会と事前合宿を行うための協定を平成29年6月14日に締結した。一方、立川市においては、国立市にある東京女子体育大学・東京女子体育短期大学と相互の発展及び充実を図り、文化・教育・学術・スポーツ・地域振興・まちづくり等の分野において、地域の発展と人材の育成に寄与するため、包括的な連携・協力に関する協定を平成27年3月9日に締結している。また、本市と同じく2020東京オリンピック・パラリンピックにおけるベラルーシ共和国の新体操事前合宿の受入れ自治体にもなっており、連携協定関連事業は「2020東京オリンピック・パラリンピック関連事業」の他、「学校教育関連事業」「スポーツ振興関連事業」「教室・講座の開催、講師派遣」「イベント等協力」など、多岐にわたっている。今回、本市と立川市がベラルーシ事前合宿の受入れ自治体という繋がりがあり、大学との関連事業において先進的な取り組みを実施していることから、行政視察を行うものである。</p>
対応者・講師等	<p>&lt;対応者及び講師&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・立川市議会議長 佐藤 寿宏 氏</li> <li>・立川市議会事務局次長 川瀬 成樹 氏</li> <li>・産業文化スポーツ部 スポーツ振興課長 久保 義彦 氏</li> <li>・産業文化スポーツ部 オリンピック・パラリンピック準備室長 下川辺 康 氏</li> <li>・産業文化スポーツ部 スポーツ振興課スポーツ振興係長 石川 勝則 氏</li> <li>・衆議院議員 東日本大震災復興特別委員会筆頭理事・経済産業委員会理事(党役職：地方組織団体総局長・経済産業部会長) 西村 明宏 氏</li> </ul>



<p>概 要</p> <p>① 背景・目的</p> <p>② 内容・特色</p> <p>③ 成果・効果</p> <p>④ 今後の課題</p> <p>⑤ 主な質疑</p> <p>⑥ 考察 (感想、課題、 政策提言等)</p>	<p>【概要】</p> <p>[テーマ：東京女子体育大学・東京女子体育短期大学との連携事業について]</p> <p>① &lt;事業の経緯・概要&gt;</p> <p>経緯&gt; 2013年の東京国体開催時に、東京女子体育大学と立川市が協働で、「ゆりーと体操」の地域への普及をおこなったことをきっかけに、「東京女子体育大学・東京女子短期大学と立川市との連携・協力に関する連絡協議会」を設置し、現在に至っている。</p> <p>&gt; 「ゆりーと体操」とは、東京都のスポーツ親善大使のマスコットゆりーとが、体操するDVDを作成し、都民に広めようとしたもので、東京都の鳥、ゆりかもめをモチーフして命名。</p> <p>概要&gt; 文化、教育、学術、スポーツ、地域振興、まちづくり等の分野で包括的な連携・協力により、相互の発展及び充実を図り、ともにまちづくりを進めて行く強固なパートナーシップの基礎とするために協定を締結。</p> <p>&gt; 協定に織り込まれた事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ振興に関すること</li> <li>・オリンピック・パラリンピック等国際競技大会開催に伴う気運醸成に関すること</li> <li>・地域振興・まちづくりに関すること</li> <li>・人材育成に関すること</li> <li>・学術研究及び教育に関すること</li> <li>・生涯学習に関すること</li> <li>・健康に関すること</li> <li>・災害対策に関すること</li> <li>・その他必要と認める事項</li> </ul> <p>◎ これらを実施するために、学長や市長などで構成する「連絡協議会」(7名)と、関係部署の課長職で構成する「連絡協議会幹事会」(16名)を設置している。</p> <p>② &lt;内容・特色&gt;</p> <p>&gt; 具体的な事業として、年1回、連絡協議会幹事会を開催。</p> <p>また、市が行う事業に大学より講師として教授等の派遣をいただいたり、学生のボランティア協力や大学が実施する事業や教室を市報で市民に知らせたり、会場の提供等を実施している。</p>
---	---

## ③ &lt;成果・効果&gt;

➤連携協定により、年1回開催される連絡協議会幹事会の議題として、大学と市との連携事業の実績と予定を報告することで、連携の確認と新たな連携の開始を容易にしている。

## ◎活動状況

- ・立川市後援事業
- ・教育委員会共催事業
- ・教員派遣事業
- ・学生派遣事業
- ・施設貸し出し事業
- ・防災関連事業
- ・2020東京オリンピック・パラリンピック関連事業
- ・その他の協力事業（中学生の職場体験等）

## ④ &lt;今後の課題等&gt;

➤2020東京オリンピック・パラリンピックが、スポーツを広める好機と考えている。連携・協力に関する協定の中心的な目的は、「オリンピック・パラリンピック等国際競技大会開催に伴う気運醸成に関すること」で、大会終了後、レガシーを除き、スポーツに係る大きなイベントが無くても、市民のスポーツに対する関心を継続できるよう、連携・協力を継続すること。

## ⑤ &lt;主な質疑&gt;

Q：大学の教授等に依頼した場合の費用弁償はどうなっていますか

A：市の条例で定めている額で支払っているが、各事業も多いことから安価で協力していただいている

Q：東京女子体育大学が国立市にあるが、立川市のように国立市と大学との連携事業もあるのでしょうか

A：一部の事業ではあるが、スポーツとしてはあまり無いようである

Q：2020東京オリンピック・パラリンピックで、ベラルーシ共和国以外の国との締結等はあるのでしょうか

A：白石市との連携もあるので、立川市としては大事にしていきたいと考えており、他の国との協定は考えていない。パラリンピックについては、門戸を閉ざしている訳ではないので、機会があればと考えている。また、民間での協力体制については、市の掛け渡しが必要な場合は協力している

Q：各事業を大学と行っているが、窓口としては産業文化スポーツ部で行っているのでしょうか

A：中学校等は教育委員会が窓口として行うなど、事業内容で各担当部署が行っている。産業文化スポーツ部は、最初の橋渡しはしたが、それ以降は各部署が行っており、連絡協議会幹事会で実績や予定を報告することで連携の確認や新たな連携を容易にしている

⑥ <考察>

- ・立川市は、国立市にある東京女子体育大学と東京女子短期大学と広い分野で包括的な連携・協力により、相互の発展と充実を図りながら、まちづくりを進めており、本市においても、新体操を通して、仙台大学と連携をしているが、包括的な連携をすることで、文化や教育、学術、スポーツ、地域振興、まちづくり等の分野で相互の協力することで地域の発展と人材育成に寄与すると考えることから、提案もふくめ今後検討して行くこととする。また、立川市においても、2020東京オリンピック・パラリンピックを通して、白石市との連携やベラルーシ共和国との交流について、オリンピック終了後も何らかの形で、継続していく考えであり、本市の考えと同じであることから、議員間での連携を含め今後検討して行きたいと考える。

[テーマ：衆議院予算委員会傍聴と衆議院議員西村明宏先生との情報交換会]

① <考察>

- ・国会が開会し、衆議院予算委員会が開催されたのに伴い、傍聴をさせていただき、その後、衆議院議員西村明宏先生と今後の市政全般について、情報交換をさせていただいた。本市の来年度の予算審議にも参考にしていきたい。

以下余白